

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

二期工事粉碎・ジェット増送阻止・35万人体制粉碎

第9回支部代表者会議

第2波闘争
(11.1)勝利
のために
【I】

第2波闘争の基本方針確認

日刊 動労千葉

79.10.27

No. 259

国鉄千葉動力車労働組合

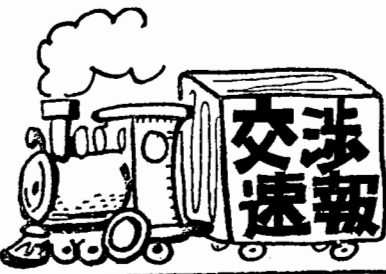
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八・九(公衆)三三三二七二〇七

***** 動労千葉は一〇月二五日、第九回支部代表者会議を開催し、第一回動労千葉臨時委員会
の決定に基づくジェット増送阻止・国鉄三五万人体制攻撃粉碎を中心とする第二波闘争の
戦術方針について確認した。*****

全支部に11・1ストライキお
よび減産B行動の準備指令

支部代は西森副委員長を座長に進められ、関川
委員長のあいさつの後、中野書記長からの方針提
起を受けて活発な質疑討論が行われた。

まず、日本労働運動・国鉄労働運動の右翼化の
中で、権力・国鉄当局、「本部」反動暴力分子の
熾烈な敵対・スト破壊攻撃の中で、新組合を結成
して半年という困難性をも突破して断固として貫
徹された10・22反戦ストの意義を全体で確認し、
権力・国鉄当局、「本部」反動暴力分子の予想さ
れる対応などについても充分見極めて、「11・1
第二波スト」を中心とする具体的方針の概要が全
体で確認されたのである。(具体的細部について
は闘争委員会一任)



団体交渉で当局を追及！

代表者も全員参加する中で当局を追及した。
「ジェット増送計画中止」「運転保安確立と線
路、踏切の根本的改善策」「新採枠拡大、構内整
備係の民託化中止、動乗新養成体系実施に伴う車
両検修及び構内運転係の技術断層解消を軸とする

動労千葉は、一〇月二五日
一〇時より団体交渉を行ない、
第一回臨時委員会決定に基づ
き「動労千葉申第八号」で申
入れた事項について、各支部

要員問題」をはじめとする懸案事項について、当
局の解答を求めたが、当局は「国鉄の公共性」「
千葉の現状を本社へ反映させる」等、全く整合性
のない回答を繰り返すばかりであり、当局の論拠
は全て動労千葉の主張の前に論破された。
動労千葉は十三時三〇分、「意見は対立であり、
現時点の回答では当局の誠意は認められず、前准
はない」と判断し、当局側に対しさらに動労千葉
の主張を踏まえた検討を要求して団交を打切った。
(詳細は交渉ニュース)

ること。

3. 運転保安確立と線路、踏切の根本的改善策
を明らかにすること。

4. 来年度の新規採用を拡大し、労働条件の維
持、改善をはかること。

5. 動力車乗務員の新養成体系実施を伴う車両
検修係及び構内運転係の技術断層を解消する
ための具体策を明らかにすること。

6. 構内整備係の民間委託計画を中止すること。
7. 千葉運転区、勝浦運転区の庁舎を新築する
こと。

8. すでに申し入れてある動労千葉申第七号の
懸案事項について、誠意をもって早急に解決
すること。

日本国有鉄道総裁

高木文雄 殿

千葉鉄道管理局長

秋山光文 殿

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 関川 幸

動労千葉申第8号

一九七九年一〇月一三日

申 入 書

第一回臨時委員会の決定に基づき、下記のと
おり申し入れするので、誠意をもって解決され
たい。

記

1. ジェット燃料輸送の増送計画を中止すること。
2. 五五六八、五五七〇列車を昼間帯に設定す

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！